



第3回：「屋外空間を考えよう！」

12月15日、月曜の夜、亀崎小学校図書室で第3回「わくわくデザインラボ」を開催しました。参加者は、地域のみなさんや市職員、運営スタッフなどを合わせて28人でした。

冒頭で事務局から「アスレの森整備時の写真」や「現況の動画」などを使ってこれまでの経緯や現在のアスレの森のようす、外構整備の基本的な考え方や基本要素について説明を聞きました。

そして、「シン・アスレの森」整備にあたって大切にしたいことを1人3つずつ考えて共有し合ったあと、グループで1つの整備イメージ案を描き、最後に全体で発表・共有しました。

NEWS LETTER (3)

デザインゲーム「描いてみよう！シン・アスレの森」

昭和53年、地域の方が「アスレの森」を作りました。当時のPTAの方々が中心となり環境整備活動として木材再利用等もしながら、全て有志の方で整備。完成に約2年かかったそうです。残念ながら、木製の遊具は老朽化し、現在の厳しい点検基準を満たせなくなり、この夏に撤去させていただきました。

今回新たな整備に使える予算には限りがあり、川や池を作るといった大きな造成は難しい状況。今ある自然の森を活かして、季節を感じながら子どもたちと地域の方が長く安心安全に過ごせるアスレの森にできればと考えています。



学校教育課 古川さん

- 遊具
- 遊歩道・ひろば
- 畑・花壇
- 広場・芝生
- 樹木
- 照明器具
- ベンチ
- 入口、動線
- その他

1

みんな集まれアスレの森

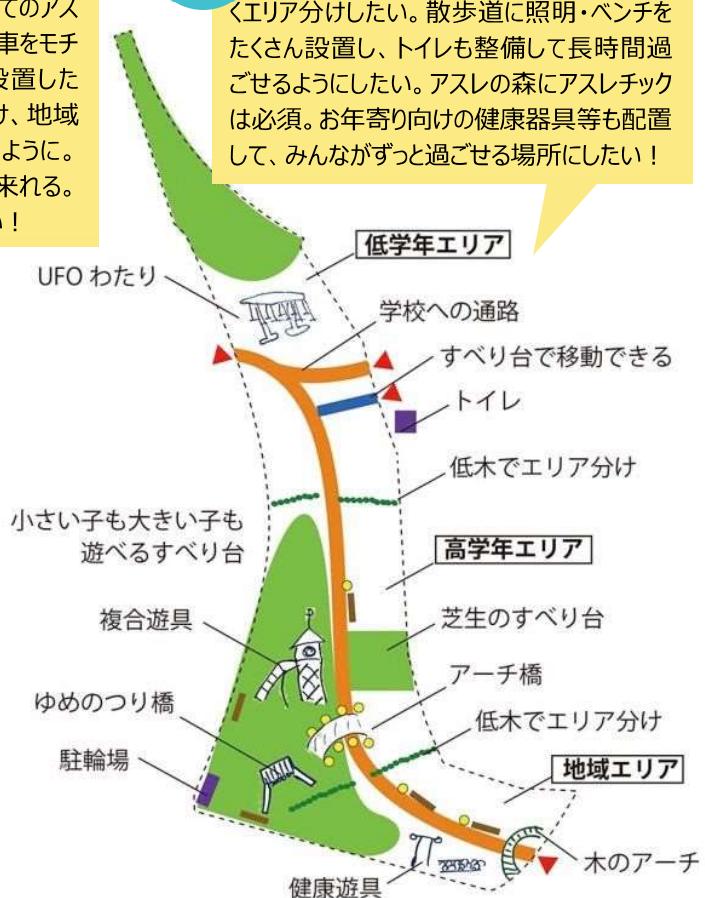


- ・管理にもみんなで参加する
- ・つくり続ける、つかい続ける、みんなで続ける

2

みんなの森

地域、高学年、低学年を低木でゆるくエリア分けしたい。散歩道に照明・ベンチをたくさん設置し、トイレも整備して長時間過ごせるようにしたい。アスレの森にアスレチックは必須。お年寄り向けの健康器具等も配置して、みんながずっと過ごせる場所にしたい！



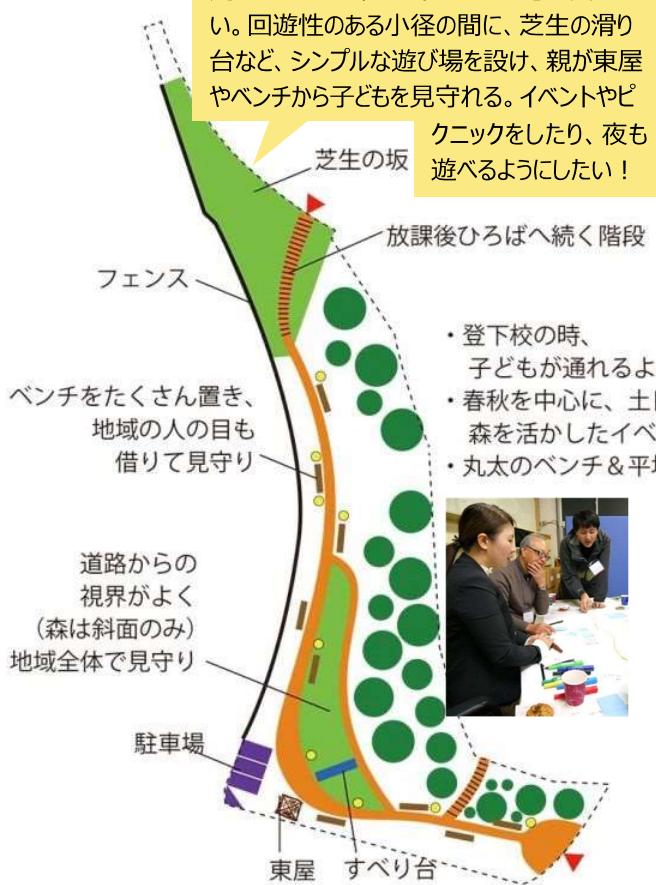
3

グループ

みんなの小径

今ある自然を活かした小径をメインに考えました。

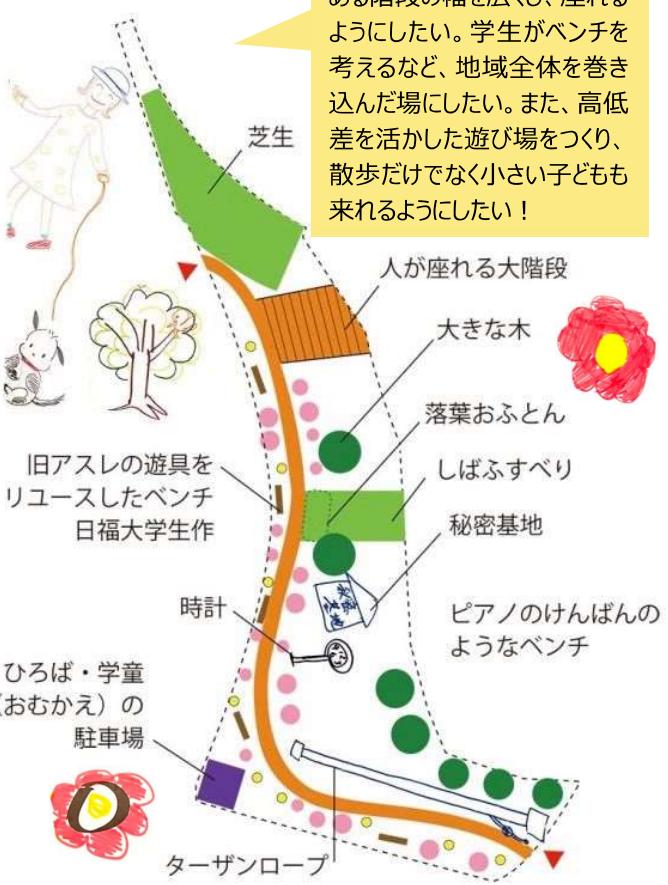
丸太のベンチを置き、少しアスレ感を出したい。回遊性のある小径の間に、芝生の滑り台など、シンプルな遊び場を設け、親が東屋やベンチから子どもを見守れる。イベントやピクニックをしたり、夜も遊べるようにしたい！

**4**

グループ

アスレのさんぽ森

地域の人が気軽に来られるようになたい。今ある階段の幅を広くし、座れるようにしたい。学生がベンチを考えるなど、地域全体を巻き込んだ場にしたい。また、高低差を活かした遊び場をつくり、散歩だけでなく小さい子どもも来れるようにしたい！

**5**

グループ

虫とふれあえるもり

遊歩道は途中でこどもコースと大人コースに分かれ、こどもコースははしごを登る。芝生には木も少しあって、いろんなオリジナルの遊具があるといい。ベンチがいたる所にあり、お花もいっぱいあって、虫も集まり、観察もできるようなアスレにしたい！

**ひとことアンケートより**

いろいろな人たちが協力してさいごのさいごまで話し合いながら、そしてしゃべりながら、そうしているとだんだんよくなり、おたがいを知る事ができました。たくさんの人としゃべったり、あそんだりしてなかよくなつて、とってもうれしかったです／アスレの森がどれだけ地域の皆さんに大事にされてきたのかよくわかりました。素敵なアイデアがいっぱいできました／みんなが楽しめることが大事だと思いました。思い出の場所になるといいな ほか

半田市役所 学校教育課

TEL 0569-84-0687

✉ gkkyoiku@city.handa.lg.jp